

■施策評価シート 14-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	        
施策番号	14-01-①	施策名	自然環境の保全	

施策の概要 自然と私たちの生活・社会活動とが密接に関係していることを理解し、身近な自然に関心を持つ機会を設け、地域の自然環境を保全・創出する活動を市民・地域・事業者等と連携して進めます。

成果指標(単位)	「いきもの自然学校」受講者数(名)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0	40	50	60
実績値	0	0	60	64	

成果指標実績に対するコメント 総合的に環境が学べるモデル地域2学区(志津・笠縫東)において、専門家、地域、団体等と協議を重ね、環境学習プログラムを作成して実施し、目標値を達成することができた。
--

施策の達成度評価 第3次草津市環境基本計画に基づき各種事業を推進した結果、重点事業1「いきもの自然学校」に関する取組については、モデル地域と協議を行い、専門家の意見を取り入れ、事業の推進に関わる人材育成や、モデル地域の利活用を図るための環境学習プログラムを実施するなど一定の効果がみられた。また、より良好な自然環境保全地区を次世代に継承するため、R5年度は3地区において危険木の除去を実施いただき、危険木を特定した15地区のうち11地区で除去を完了させることができた。
--

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方 重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全につながる事業を目指し、まちづくり協議会等の関係機関と連携を強めながら、事業内容の充実を図る。また、事業について市ホームページ等で発信し、周知を行う。自然環境保全地区については、保全地区の管理者等に対し補助を行うことにより危険木除去などを推進し、保全地区の保全を図り、良好な自然環境を維持する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	「いきもの自然学校」や自然環境保全地区危険木除去等事業を実施した結果、市民の自然に対する関心を深めるとともに、地域の自然環境を保全することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営事務	環境政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	        
施策番号	14-01-②	施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進	

施策の概要
事業所等への適切な指導・啓発をはじめ、河川の水質調査など環境調査の継続実施を行います。

成果指標(単位)	河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数／調査回数)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	20／24	24／24	24／24	24／24
実績値	18／24	20／24	17／24	21／24	

成果指標実績に対するコメント
狼川で12回の測定のうち3回の基準超過があり、目標値には達しなかった。狼川の基準超過の原因を究明するため、採水地点より上流での追加調査や狼川流域の事業所の排水調査を重点的に実施したが、原因の特定には至らなかった。

施策の達成度評価
河川の水質調査については、調査の結果、狼川で12回の測定のうち3回が環境管理基準を超過したため、継続して河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めた。事業所等指導については、環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った。

評価に基づいた令和7年度 of 取組についての考え方
狼川流域の河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても調査や啓発等を行う。また、引き続き環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
事業所等指導事業	環境政策課	○	環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った結果、環境汚染等を未然に防止することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
環境調査事業	環境政策課	○	継続して河川調査などの環境調査を実施した結果、市内の環境の状況を適切に把握し、良好な環境を維持することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策評価シート 14-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-③	施策名	環境学習の拡充

施策の概要

市民・地域・事業者等と連携のもと、市内に点在する自然、文化、食、歴史など地域資源を活用した体験型の環境学習・環境保全活動を推進し、主体的に活動する環境まちづくりを進めるとともに、環境活動に取り組む団体等の活動支援や活動する人材の発掘・育成を行います。また、環境に関する情報発信や環境への関心が深まるイベント、啓発活動を行います。

成果指標(単位)	こども環境会議参加団体数(団体)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	68	70	72	74
実績値	0	46	52	52	

成果指標実績に対するコメント

こども環境会議参加団体数は目標値に達することができなかったが、「交流の部」を3年ぶりに対面での開催するとともに一部オンラインによる交流を実施し、また、くさつエコスタイルプラザおよびイオンホールでの壁新聞の展示や、YouTube「くさつチャンネル」による環境学習活動の発信を行うことができた。

施策の達成度評価

第3次草津市環境基本計画に基づき、環境について学び行動できる地域社会づくりとして、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣を実施した。こども環境会議については、対面とオンラインの手法を組み合わせ「交流の部」を実施するなど、新型コロナウイルス感染症の影響下での開催経験を踏まえて、より参加しやすい形態により開催することができた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、こども環境会議は、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学など多種多様な主体による参画が図れるよう参加の呼びかけを行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境政策課	○	こども環境会議などの環境に関するイベントの開催や、環境学習のための教材貸出・講師派遣を実施した結果、市民の環境への関心を深め、環境学習を推進することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	      
施策番号	14-02-①	施策名	様々な主体の自主的な取組の支援とネットワークの拡充	

施策の概要
脱炭素社会への転換に向けた取組を支援するため、愛する地球のために約束する協定をはじめ、様々な主体が自主的に取り組むための制度・仕組みづくりを行うとともに、自主的な取組を促す情報提供やネットワークの拡充を図ります。

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数(者)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	77	79	81	83
実績値	75	76	78	78	

成果指標実績に対するコメント
草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数は、「愛する地球のために約束する協定」の協定会員でもある3者が、実質的に活動していないことなどを理由に退会されたが、新たに個人会員2者を含む計3者が入会し、全体としては増減はなく、目標値には僅かに届かなかったが、商工観光労政課と連携して市内企業に呼び掛けたり、会員ネットワークにより入会を呼び掛けた成果が表れたものと考え。

施策の達成度評価
市内企業へ「愛する地球のために約束する協定」締結を呼びかけたり、会員による勧誘活動を行ったが、協議会員数は増加しなかった。令和3年12月に行った気候非常事態宣言を機に協議会活動の更なる発展が求められるなか、新たな会員増加手法の検討が必要である。令和6年度は協議会設立15周年記念誌を制作する予定であり、これを契機に、改めて幅広い市民、事業者、団体に入会を促していくことが肝要である。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方
令和6年度に制作予定の協議会設立15周年記念誌等を活用し、会員加入促進事業を展開していくとともに、令和7年度開始予定の次期草津市地球温暖化対策実行計画(第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト)における地球温暖化対策市民運動の取組を協議会と共に推進していくことにより、協議会活動の更なるアピールと会員ネットワークの拡充を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	温暖化対策室	○	目標値には届かなかったものの、会員数は維持したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	14-02-②	施策名	省エネルギー対策・再生可能エネルギー利用等の推進

施策の概要

省エネルギー機器の導入・更新や再生可能エネルギーの利用促進を図るため、イベント・フォーラム・展示会等の開催や導入事例等も含めて様々な情報提供を行います。

成果指標(単位)	カーボンニュートラルに向けたイベント等における啓発者数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	630	690	750	810
実績値	568	520	2,299	4,079	

成果指標実績に対するコメント

目標値を大きく上回る実績値となった。新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント・フォーラム・展示会などの開催がオンライン開催もしくは縮小、中止される社会情勢が当面継続することを想定し目標設定を行ったが、令和5年度はウイズコロナにより各種イベント等への来場者数が増えたほか、草津市地球冷やしたいプロジェクトに基づき開催する「地球冷やしたいセミナー」の回数を増やした成果が表れたものと考えられる。

施策の達成度評価

地球温暖化対策をテーマとする大規模な啓発イベント「地球冷やしたい推進フェア」は、令和5年度より2日間開催から1日開催へ変更したことにより啓発者数は減少したが、小規模なセミナーや出展ブースでの啓発人数は大幅に増加した。このことから、大規模イベントについては、企画内容についてより一層の工夫が必要であると考えられる。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

大規模イベント「地球冷やしたい推進フェア」については、令和6年度においては、草津市制70周年による拡大企画を予定していることから、その成果を踏まえ令和7年度も1日開催であっても啓発効果が高まるよう工夫する。また、セミナーや出展ブース等における啓発についても、引き続き関係課・団体と連携しながら取り組み、カーボンニュートラルに向けた市民の行動変容に繋がるよう、内容の充実を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	温暖化対策室	○	省エネルギーや再生可能エネルギー等に関して、イベント等で情報提供を行ったため。
広報啓発活動事業	温暖化対策室	○	イベント等でのカーボンニュートラルに向けた啓発を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域脱炭素事業	温暖化対策室

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	14-03-①	施策名	ごみの発生抑制・再使用・資源化の推進

施策の概要

資源循環型社会の構築のため、発生抑制、再使用によるごみ発生量の削減と資源化による最終処分量の削減の取組を進めます。

成果指標(単位)	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)(g/人・日)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	553.5	546.2	534.4	519.2
実績値	557.4	542.8	515.4	490.6	

成果指標実績に対するコメント

令和5年度の家庭系ごみ排出量(集団回収量を除く)は、前年度の25,373tに対して24,496t、令和5年度の集団回収量は、前年度の2,138tに対して2,014tであり、家庭系ごみの総排出量は、前年度比で約1,000tの削減となった。
その結果、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)は、目標値の534.4g/人・日に対して、実績は490.6g/人・日となり、目標値を達成することができた。

施策の達成度評価

「第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に定める1人1日あたりのごみ排出量の目標について、家庭系ごみの目標値476.8g/人・日に対して453.3g/人・日、集団回収量の目標値57.6g/人・日に対して37.3g/人・日となっており、それぞれ目標値を達成しているものの、循環型社会の構築に向けて今後も更なるごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」に向けて、ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適正な分別に向けた取組を推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課	○	生ごみ処理容器の購入に係る補助や資源回収活動の奨励、事業系ごみの減量指導等により、ごみの減量を推進することができたため。
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課	○	分別アプリの普及推進や分別ブックの発行等、ごみの分別を周知啓発することにより、ごみの資源化を推進することができたため。
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	資源循環推進課	○	ごみ問題を考える草津市民会議と連携して、エコライフフェアの開催や広報誌「ごみジャーナル」の刊行等により、3Rを啓発することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	14-03-②	施策名	ごみの適正処理

施策の概要
効率的な収集とクリーンセンターの適正な運転管理を行います。

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果(ng-TEQ/Nm ³)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0.1	0.1	0.1	0.1
実績値	0.0012	0.00010	0.00013	0.00072	

成果指標実績に対するコメント
一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の1ng-TEQ/Nm ³ はもちろんのこと、目標値である0.1ng-TEQ/Nm ³ も満たすことができた。

施策の達成度評価
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、クリーンセンターについては、これまでどおり適正な運転管理に努めた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めるとともに、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値(1ng-TEQ/Nm ³)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm ³ を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境を保全することができたため。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修やごみ処理施設を適正に運転・維持管理することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
広域廃棄物埋立処分場建設費負担金事業	資源循環推進課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業

■施策評価シート 14-03-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-③	施策名	環境美化の推進	

施策の概要

ごみの不法投棄防止のための定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が協力・連携し環境美化に努めます。
--

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率:不法投棄ごみ量／ごみ発生量(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0.03	0.03	0.03	0.02
実績値	0.03	0.04	0.04	0.03	

成果指標実績に対するコメント

不法投棄ごみ率およびクリーンセンターに搬入された不法投棄ごみ量は減少しており、定期的なパトロールによる監視活動や町内会によるボランティア清掃活動など、市民・地域・事業者との連携による取組の結果、生活環境の保全を図ることができた。
--

施策の達成度評価

不法投棄の発生が懸念される場所について定期的なパトロールを行うとともに、町内会等への不法投棄禁止看板やボランティア清掃用のごみ袋の交付など、不法投棄の未然防止や投棄物の回収に努めたことで、生活環境の保全を図ることができた。

評価に基づいた令和7年度取組についての考え方

パトロールによる監視や監視カメラの有効活用など、不法投棄対策に引き続き取り組む。 また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	定期的なパトロールによる監視やボランティア団体との協働による不法投棄物の回収等によって、生活環境を保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生活環境等対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。